【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成25年5月9日(2013.5.9)

【公表番号】特表2011-512893(P2011-512893A)
【公表日】平成23年4月28日(2011.4.28)
【年通号数】公開・登録公報2011-017
【出願番号】特願2010-547621(P2010-547621)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｆ　2/44　(2006.01)
Ａ６１Ｂ　17/56　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｆ　2/44
Ａ６１Ｂ　17/56

【手続補正書】
【提出日】平成24年6月6日(2012.6.6)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
隣接した椎体間のスペースに配置するための脊椎インプラントであって、
ａ．第１の隣接した椎体と係合するための第１の表面と、
ｂ．第２の隣接した椎体と係合するための第２の表面と、
ｃ．少なくとも１つの延長可能部材であって、収縮構成から、隣接した椎体と接触する延長構成へと該第１の表面および該第２の表面のうちの少なくとも１つを延長するように構成されている、延長可能部材と、
ｄ．少なくとも１つの延長可能固定要素であって、
隣接した椎体の中に貫通するように構成される遠位先端と、
該第１の椎体と該第２の椎体との間に該インプラントを配備することを容易にする、該インプラント内における収縮構成と、
該第２の表面を越えて該遠位先端を延長し、該第２の隣接した椎体の中に貫通し、該第１の隣接した椎体と該第２の隣接した椎体との間のスペース内に該インプラントを固定する延長構成と
を有する、延長可能固定要素と
を備えている、脊椎インプラント。
【請求項２】
前記第１の隣接した椎体と係合するための第１の表面は、ベース部材を含み、前記第２の隣接した椎体と係合するための第２の表面は、該第１の表面および該第２の表面のうちの少なくとも１つを延長するための加圧部材を含む、請求項１に記載のインプラント。
【請求項３】
少なくとも１つの支持部材が、前記ベースと協働し、前記加圧部材に結合されている、請求項２に記載のインプラント。
【請求項４】
前記加圧部材は少なくとも１つの通路を有し、前記固定要素の前記遠位先端は、該通路を通って延長し、前記第２の椎体と係合する、請求項３に記載のインプラント。
【請求項５】

前記支持部材は、延長されるように適合されている、請求項３に記載のインプラント。
【請求項６】
前記支持部材は、流体によって延長されるように適合されている、請求項５に記載のインプラント。
【請求項７】
前記第１および第２の表面のうちの少なくとも１つを前記収縮構成から前記延長構成へと延長するように、前記少なくとも１つの延長可能部材と協働する少なくとも第２の延長可能部材をさらに備え、前記複数の延長可能部材は、骨移植材料の椎骨間のスペースへの注入のための中央空洞を該複数の延長可能部材間に規定する、請求項１に記載のインプラント。
【請求項８】
前記延長可能固定要素は、前記支持部材に対して延長可能である、請求項５に記載のインプラント。
【請求項９】
前記延長可能固定要素は、前記支持部材に無関係に延長可能である、請求項５に記載のインプラント。
【請求項１０】
前記延長可能固定要素は、流体によって延長されるように適合される、請求項１に記載のインプラント。
【請求項１１】
前記流体は、液圧流体である、請求項１０に記載のインプラント。
【請求項１２】
前記液圧流体は、流体状態を有する硬化可能ポリマーを備え、該流体状態は、機械的力の液圧連絡を提供し、隣接した椎体と係合するように前記固定要素を延長する、請求項１０に記載のインプラント。
【請求項１３】
前記ポリマーは、固体状態に硬化させられ、椎体の間のスペースに前記脊椎インプラントを保持するように前記延長された固定要素をロックする、請求項９に記載のインプラント。
【請求項１４】
前記ポリマーは、メタクリル酸メチルを含む、請求項１３に記載のインプラント。
【請求項１５】
前記延長可能固定要素は、延長可能部材のボア内にスライド可能に配置される、請求項８に記載のインプラント。
【請求項１６】
前記延長可能固定要素は、前記延長可能部材のボア内の液圧流体によって延長される、請求項１５に記載のインプラント。
【請求項１７】
前記ベースと協働する複数の延長可能支持部材を含む、請求項５に記載のインプラント。
【請求項１８】
前記延長可能支持部材のうちの少なくとも２つは、独立して延長されるように適合される、請求項１７に記載のインプラント。
【請求項１９】
複数の支持部材が、前記ベースと協働し、前記加圧部材に結合される、請求項５に記載のインプラント。
【請求項２０】
前記支持部材のうちの少なくとも２つは、ボアを有し、該ボア内に配置される延長可能固定要素を有する、請求項１９に記載のインプラント。
【請求項２１】

患者の椎骨構造を治療するためのシステムであって、
ａ．脊椎インプラントであって、
ｉ．第１の隣接した椎体と係合するための第１の表面と、
ｉｉ．第２の隣接した椎体と係合するための第２の表面と、
ｉｉｉ．少なくとも２つの延長可能部材であって、収縮構成から、隣接した椎体と接触する延長構成へと該第１の表面および該第２の表面のうちの少なくとも１つを延長するように構成され、該複数の延長可能部材は、骨移植材料の椎骨間のスペースへの注入のための中央空洞を該複数の延長可能部材間に規定する、延長可能部材と、
ｉｖ．少なくとも１つの延長可能固定要素であって、
遠位先端と、
該第１の椎体と第２の椎体との間に該インプラントを配備することを容易にする、該インプラント内における収縮構成と、
該第２の表面を越えて該遠位先端を延ばすことによって、第２の隣接した椎体の中に貫通するようにし、該第１の隣接した椎体と第２の隣接した椎体との間のスペース内に該インプラントを固定する延長構成と
を有する、延長可能固定要素と
を有する、脊椎インプラントと、
ｂ．該少なくとも１つの延長可能固定要素が、該収縮構成にある状態で、２つの椎体の間のスペースの中に該脊椎インプラントを挿入するための手段と
を備えている、システム。
【請求項２２】
前記インプラントの前記第２の表面は通路を有し、前記固定要素は、前記延長構成へと延長する際に該通路を通って延びる、請求項２１に記載のシステム。
【請求項２３】
延長可能支持部材が、２つの隣接する椎体の間のスペース内で前記インプラントを拡張するために、前記第１の加圧表面と前記第２の加圧表面との間に接続される、請求項２１に記載のシステム。
【請求項２４】
前記延長可能支持部材は、それぞれ、該支持部材の延長の際に延長される固定要素を受け取るボアを有する、請求項２３に記載のシステム。